



代表取締役
赤井 雅哉さん

(令和6年12月取材)

省エネ空調環境を 見れる、触れる、体感できる

～長谷川冷機は快適環境を作るための
ベストな選択と一緒に考えます～



◇御社の歴史を教えてください

当社は、1947年に長谷川鉄工様のアンモニア冷凍機の販売店として和歌山で創業し、同56年に会社として設立しました。

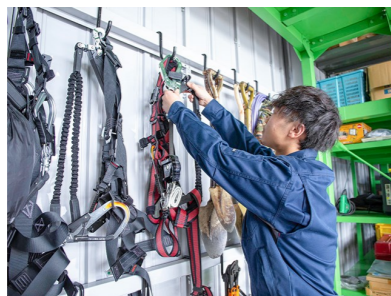
当初は県内の沿岸漁業関係を主とした大型製氷設備や冷凍設備を中心に事業展開を図っておりましたが、その後冷凍だけでなく空調・給排水・衛生工事の総合設備業として体制を整えました。設計から見積もり、監理、施工、アフターメンテナンスと一貫したサービスを提供し、お客様の要望、社会のニーズを満たすために努力しております。

◇「ものづくり」へのこだわりは？

空調や給排水の設備は、日々の生活になくてはならないものです。だからこそ、きちんと施工して当たり前だと考えています。そのため、現在20人いる社員の8割が総合設備業に関する国家資格の有資格者で、プロフェッショナルな人材が確かな技術で対応しています。また、当社では常にお客様の立場に立って考えることを大切にしています。

◇従業員の人材育成について

当社における人材育成について、やはり現場が第一主義となってくるため、できる限り現場に出向いて仕事を覚えてもらいます。また、社外勉強としてメーカーに出向いてもらうことで、より即戦力となる力を身に付けてもらいます。さらに、工作中的の事故を防止するために、緊張感を持ってもらい、安全に十分配慮し、業務に努めてもらっています。



◇この仕事に就こうとしている人に アドバイスをお願いします

設備業界では、手に職を付けて、70代まで働いている人もいます。転職する際も今まで持っていたスキルをそのまま使うことができる点が、この業界のメリットだと考えています。また、個々のスキルを活かせるところがこのものづくりの特徴でもあると思います。同じ設備導入でも現場ごとで仕事のやり方が異なってくるため、毎回工夫する必要がある点でもやりがいのある仕事だと思います。

◇ポリテクセンターから採用した感想は？

設備メンテナンスは比較的知名度の低い業界ですが、ポリテクセンターに設備関連の科があったからこそ森谷さんのような人材に当社で働いてもらうことができました。また、ポリテクセンターでの職業訓練を受講しようと思っていた時点で意識が高いと感じ、やる気も感じられました。現在の仕事においても、真面目に業務を遂行してくれていると思います。



ビル管理技術科の修了生が活躍中！

令和2年2月修了 森谷 典生さん(44歳)



◇ポリテクセンターに入所した理由

ポリテクセンターに入所する前は新聞配達業務を行っていました。しかし、このまま現在の仕事を続けていると時代に取り残されてしまうのではないかと思い、転職を決意しました。その頃、知人を通して職業訓練について知りました。ハローワークで相談したところビル管理技術科は、広く浅く電気・給排水・空調などの幅広い内容を身に付けられるということを知りました。手に職を付けたくポリテクセンター和歌山の訓練を受講することを決意しました。

◇ポリテクセンターで学んだこと

訓練では、シーケンス制御について学んだことがとても記憶に残っています。そのときの配線作業がとても楽しかったです。訓練で先生の指導の通りに制作すると、きちんと動作するものができました。先生の指導とは違う方法で作って見たらどのようになるのか気になり、訓練終了後の空き時間に様々な方法を試し、作業をしていました。このことが、現在の業務に活かされています。

◇将来の目標

現在行っている業務で、お客様から設備修理の依頼を受けた際に、設備が故障した原因を探る際の判別が難しいときがあります。それで、経験を積んで少しずつ原因を究明できるようになり、将来はお客様に的確なアドバイスや修理ができるようになりたいです。

◇後輩へのアドバイス

知識があっても資格がないためできないことがあります。そのため、資格を持っているかが重要になってきます。ポリテクセンターでの訓練受講を考えている方には、多くの資格取得を目指して勉強していただきたいです。ポリテクセンターでは、その勉強ができる環境があります。初めての業界に未経験から飛び込むのはそれなりに勇気がいると思いますが、挑戦を恐れなくてほしいです。

現在担当しているお仕事

長谷川冷機は、冷凍・空調・給排水・衛生工事の総合設備業として、設計から見積もり、監理、施工、アフターメンテナンスを行っている事業所です。私は入社直後は営業を行っていましたが、現在は室外機を解体して中の部品を交換する業務を行っています。

ポリテクセンター和歌山で学んだ配線の仕方が、現在の業務に活かされていると感じます。

